

ース
パネ
イト

共同運営方式で拡大

受託施設、計画から連携

イト
ハフ

フィットネス施設運営
受託のハイパーフィット
ネス（川崎市、亀田政幸

社長は立地選定から施設運営まで共同であたる

施設の拡大を目指す。第一弾として建設資材を扱う相模興業（神奈川県海

老名市、加藤政徳社長）と契約した。

立地は相模興業と共同で選定。出店費用は相模が負担し、ハイパーが運営受託する。多店舗展開

を目指す。これまで相手先企業から単独施設の運

営を受託することはあったが、施設展開など計画段階から連携を図るケースは同社初となる。

一号店は二〇〇六年秋、神奈川県厚木市に開業する。延べ床面積は約八千平方メートル。ジムや運動スタジオのほか、球技などが楽しめるアリーナ型の運動場を設ける。五コ

ースある二十五坪プールの隣に歩行専用のプールを用意するほか、サウナや露天ジャグジーなど温浴施設も充実させる。目標会員数は四千人で、入会金や月会費などは今後詰める。

共同で施設の経営にあたるため、出店地の選定や運営上の各施策は両社

の役員を集めた「経営委員会」で決定する。ハイパーは主に施設運営を担当し、相模興業から施設の売り上げに対し一定比率の委託料を受け取る契約になる。

ハイパーは外食の宮グループなどから運営を受託、計画を上回る会員を集めた実績がある。